

読書便り

74期 1年生

通信 001号

2020.5.21 発行

「2016年に大ヒットした映画の小説版」



タイトル 君の名は

作者名 新海誠

発売日 2016年6月18日

ISBN 978-4041026229

出版社 KADOKAWA/メディアファクトリー

【内容紹介】

山深い田舎町に暮らす女子高校生・三葉は、自分が男の子になる夢を見る。見慣れない部屋、見知らぬ友人、目の前に広がるのは東京の街並み。一方、東京で暮らす男子高校生・瀧も、山奥の町で自分が女子高校生になる夢を見る。やがて二人は夢の中で入れ替わっていることに気づくが——。出会うことのない二人の出逢いから、運命の歯車が動き出す。長編アニメーション『君の名は』の、新海誠監督みずから執筆した原作小説。

和歌が組み込まれた物語。

女子高校生の三葉は都会にあこがれを抱いている。夢の中で東京の男子高校生と入れ替わる。そして、東京の生活を楽しむ。そして夢が覚めなければいいのにと願う。これと似たような思いを詠った和歌が存在する。

おもい ね 見えつらむ 夢と知りせば 覚めざらましを
思ひつつ 寝ればや人の

「あなたを思って寝たからあなたが夢に出てきたのでしょうか。夢とわかっていたら目を覚まさなかったのに」という意味の小野小町の句です。

た かれ とい ながつき つゆ ぬ きみ ま あ
誰そ彼と われをな問ひそ 九月の 露に濡れつつ 君待つ我そ

「誰、あれは、と私に尋ねないでください。あれは9月の露に濡れながら君を待つ私なのですから。」という和歌も関係してきます。映画公開日8月26日。入れ替わりが起こったのは9月2日。たそがれ（夕方）、雨、待つも作品のキーワードです。

小説や映画で「君の名は」を楽しんでみてください。